社会資本総合整備計画　　事後評価書

計画の名称	瀬谷駅周辺地区都市再生整備計画事業													
計画の期間	平成２８年度　～　令和０２年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	横浜市													
計画の目標	大目標　瀬谷駅南口第１地区における市街地再開発事業により、基盤施設を整備するとともに商業施設・住宅等の集積を図り、「駅勢圏の大きい郊外部の生活拠点」にふさわしい駅前空間の形成を実現する。 小目標　地域住民の文化芸術活動の交流拠点として（仮称）瀬谷区民文化センターを整備し、必要な都市機能の集約を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,210	A	1,210	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		R4
1	地域住民の文化芸術活動を（仮称）瀬谷区民文化センターが支えていくことによる文化活動に関する区民の満足度の向上			
	区内の文化活動の場所についての満足度（満足・どちらかといえば満足）	38%	%	44%
2	（仮称）瀬谷区民文化センターを整備することによる文化施設の利用者数の増加			
	瀬谷区美術展（来館者数）	1980人	人	2376人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

全体の事業期間は平成28年度～令和３年度の6年間、事業費は2,128百万円ですが、当計画には平成28年度～令和２年度の事業費のみ計上しています。

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市	―	―	都市再生整備計画（瀬谷駅周辺地区）	約2.5ha	横浜市	■	■	■	■	■	1,210		―
		事業費は平成28年度～令和２年度の金額（事業期間：H28～R3）																	
											小計						1,210		
											合計						1,210		

社会資本総合整備計画　　事後評価書

計画の名称	瀬谷駅周辺地区都市再生整備計画事業		
計画の期間	令和０３年度　～　令和０３年度　(1年間)	重点配分対象の該当	
交付対象	横浜市		
計画の目標	大目標　瀬谷駅南口第１地区における市街地再開発事業により、基盤施設を整備するとともに商業施設・住宅等の集積を図り、「駅勢圏の大きい郊外部の生活拠点」にふさわしい駅前空間の形成を実現する。 小目標　地域住民の文化芸術活動の交流拠点として（仮称）瀬谷区民文化センターを整備し、必要な都市機能の集約を図る。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	918	A	918	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		R4
1	地域住民の文化芸術活動を（仮称）瀬谷区民文化センターが支えていくことによる文化活動に関する区民の満足度の向上			
	区内の文化活動の場所についての満足度（満足・どちらかといえば満足）	38%	%	44%
2	（仮称）瀬谷区民文化センターを整備することによる文化施設の利用者数の増加			
	瀬谷区美術展（来館者数）	1980人	人	2376人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靭化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

全体の事業期間は平成28年度～令和３年度の6年間、事業費は2,128百万円ですが、当計画には令和３年度の事業費のみ計上しています。

案件番号：　0000554269

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R03	R04	R05	R06	R07	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市	ー	ー	都市再生整備計画（瀬谷駅周辺地区）	約2.5ha	横浜市	■					918		ー
		事業費は令和３年度のみの金額（事業期間：H28～R3）																	
											小計						918		
											合計						918		

案件番号：　0000554269

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施	令和５年度末
	公表の方法
	横浜市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・新型コロナウィルスの影響による外出制限により、施設での文化活動が難しい状況であったため評価値が目標値には達していないものの、直近の瀬谷区区民意識調査結果では、「区内の文化活動の場所に満足していない」、「どちらかといえば満足していない」という回答が著しく減少（37.3%→23.7%）した。 ・事業完了地区周辺の居住者や来街者を対象にに実施（令和４年10月～11月）したアンケート調査では、瀬谷区民文化センター（あじさいプラザ）に関して80.1%の方が「満足」又は「やや満足」と回答しており、一定の効果があった。 ・瀬谷区民文化センターが整備されたことにより、地域住民の文化芸術活動の交流拠点ができ、瀬谷駅前の賑わいや文化的機能が創出された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

【学識経験者の意見】
・市街地再開発事業による機能集積に併せて駅前に整備したことで利用者の交通利便性の観点から文化芸術活動や賑わいが一層期待される。引き続きこのようなプロジェクトを展開してほしい。
・効果指標である区民満足度が目標未達成となったことについては、新型コロナウイルスによる外出制限の影響が一定程度考えられる。
・指標の「場所に対する満足度」は立地、設備および利用方法など回答者によって捉え方は様々である。ニーズを適切に分析するためアンケートの設問をより細分化するなど工夫の余地があるので、検討してほしい。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	区内の文化活動の場所についての満足度（満足・どちらかといえば満足）		
	最　終 目標値	44%	・新型コロナウィルス感染症の影響による外出制限や活動制限により、文化施設を使用しての文化活動が困難な状況が続いたことが主な原因として考えられる。
	最　終 実績値	28%	
2	瀬谷区美術展（来館者数）		
	最　終 目標値	2376人	・瀬谷美術展は、区民文化センター（あじさいプラザ）整備以前は、瀬谷地区センターで開催していたが、今回はあじさいプラザ内に整備された、美術展としての利用に適した「ギャラリー」での実施となったため、来館者も増加したものと考えられる。また、会場までは瀬谷駅からペデストリアンデッキで直結されており、アクセスの面での利便性の向上も要因として考えられる。　・建物が商業施設等との複合施設であるため、気軽に立ち寄ることができる文化施設となったためと考えられる。
	最　終 実績値	2934人	

案件番号：0000554269